学校番号	1009

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高校生の地理総合　GEOGRAPHY」（帝国書院）、「新詳高等地図」（帝国書院）						
副教材等	「図説地理資料　世界の諸地域 NOW 2024」（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・高校生には立場の違いを乗り越え、他者を理解しようとする「寛容性」を身に着けてほしいと考えています。異なる時代の価値観を学習する科目が歴史であれば、同時代を生きる違う地域の人々の価値観を学習する科目が地理です。地形や気候、農業や工業の学習を通して、各地の自然環境や社会環境を知り、自分たちと似ている点・異なる点が見えるでしょう。今ここにある当たり前の価値観が、限定的であるということを地理の学習を通して気づくことが、この科目を学習する意義であると考えます。

2　学習の到達目標

・地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。【知識及び技能】
・地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と 自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。【思考力・判断力・表現力等】
・地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。【学びに向かう力・人間性等】

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	・地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	・地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深めている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	地図や地理情報システムと現代社会	・地球儀と地図 ・地図と地理情報システム ・現代世界の国家と領域 ・地図から見る日本の位置と領域 ・地図から見る国内や国家間の結びつき	a:地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて、地図や地理情報システムの役割や有用性を理解している。地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取る技能や、地図や地理情報システムを利用する技能を身につけている。 b:各種の地図にはどのような特徴があるのかや、地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:目的に応じた地図や地理情報システムの利活用の方法について、主体的に追究し、課題を見いだしている。	・定期考査	・定期考査 ・提出物	・提出物 ・授業態度 ・授業内での発表 ・小テスト

2学期	生活文化の多様性と国際理解	・世界の地形と人々の生活 ・世界の気候と人々の生活 ・世界の産業と人々の生活 ・多様な生活文化と地理的環境 ・世界からみた日本の生活文化 ・産業①東アジア ・結びつき①東南アジア ・宗教・歴史①インド ・自然環境①中央アジア・西アジア・北アフリカ ・宗教・歴史②サハラ以南アフリカ ・宗教・歴史③ヨーロッパ ・自然環境②ロシア ・産業②アメリカ合衆国 ・宗教・歴史④ラテンアメリカ ・結びつき②オセアニア	a:世界の多様な生活文化が、自然環境や社会環境を背景に、互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解している。 世界の生活文化の多様性の背景となるものや、世界の生活文化の相互関係を見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。 b:地形や気候、産業とその発展、歴史、人の移動、他地域との結びつきに着目しながら、世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	・定期考査	・定期考査 ・提出物	・提出物 ・授業態度 ・授業内での発表 ・小テスト

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
2学期	地球的課題と国際協力	・人口問題 ・食料問題 ・都市居住問題 ・感染症・衛生問題 ・資源・エネルギー問題 ・地球環境問題	a: 地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係し合っていることを理解している。地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係し合っていることを見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。 b:地球的課題がどこで、どのように生じているのかや、解決のためにどのような取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:持続可能な開発を実現するために必要な取り組みや国際協力のあり方について、主体的に追究し、課題を見いだしている。	・定期考査	・定期考査 ・提出物	・提出物 ・授業態度 ・授業内での発表 ・小テスト

3学期	自然環境と防災	・日本の自然環境 ・地震・津波や火山活動による災害と防災 ・気象災害と防災 ・自然災害への備え	a:自然災害が生じる場所と要因、日本の自然災害の特徴、生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを理解している。自然災害の発生場所や要因、日本の自然災害の特徴、生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。 b:どのような自然災害がどのような場所で生じるのかや、日本の自然災害にはどのような特徴があるのか、どのような防災・減災への取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:自然環境には災害と恩恵の両側面があり、人々が生活していくうえで必要な防災・減災に向けた備えについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	・定期考査	・定期考査 ・提出物	・提出物 ・授業態度 ・授業内での発表 ・小テスト

3学期	生活圏の調査と地域の展望	・地理的な調査テーマの設定 ・事前調査と現地調査 ・調査結果の分析と仮設の検証 ・調査結果のまとめと地域づくりへの参画	a: 生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたを理解している。生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたについての地理的見方・考え方を身につけている。 b: 事前調査の結果からどのような仮説が立てられるのかや、現地調査の結果をどのように分析・整理するのか、他の事例との比較からどのようなことがいえるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:生活圏の調査の結果を地域に還元し、よりよい社会を築いていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	・定期考査	・定期考査 ・提出物	・提出物 ・授業態度 ・授業内での発表 ・小テスト

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度